



高島幼稚園だより

令和 7 年 1 月号

板橋区立高島幼稚園

板橋区高島平 2-1 8-1

TEL 03-3934-5848

園長 井上 朋子

保幼小接続・小中一貫教育「高島なかよし通り学びのエリア」
(高島幼稚園・高島第二小学校・高島第二中学校)

高島幼稚園
ホームページ



50 周年
キャラクター
「たんたん」



幸せな気分になる時間をもてますように

園長 井上 朋子

この冬休みは穏やかに過ごせたでしょうか。自分の親や親戚、知り合いなどに久しぶりに再会したり、ふるさとに帰省したりした方もいらっしゃるでしょうか。様々な過ごし方があったかと思いますが、保護者の皆様が少しでもホッとできる時間をもてたようでしたら嬉しいです。保護者の皆様が穏やかに過ごせたことが子どもたちにも伝わって、きっと子どもたちも幸せな気分になることと思います。

ある日の新聞記事の書き出しに、「人はなぜ、ふるさとを思うのだろう。そこに、家族の大切な記憶があるからだろうか。友人や近所の人の優しい笑顔に会いたくなるためか。それとも、…」という一節を読んで、毎年、正月には義務であるかのように帰省している自分を振り返り、なぜだろうと思い巡らせていました。帰省しなければならない理由もありますが、なぜふるさとを思うのか、自分にとって懐かしいと思うものには何があるのか、見慣れた光景になっているためか、すぐには答えが出ずにいました。いつものように正月を過ごし、一人で暮らす父と別れる際に、ふと見上げた夜空にたくさん星が煌めいていました。東京では見えないたくさんの星を前に、ほっこりとした気持ちになり、思わずオリオン座やカシオペア座を探していました。星空を見ると、なぜか自分の中に悶々と溜まっていたものがすーっと消えて、落ち着いた気持ちになれるので、好んで見ていたことを思い出しました。星空を見上げて懐かしさを感じるとはロマンチックな気もしますが、星を見る宿題があったことや寒いなか観察したことも、付随してよみがえりました。懐かしいものは複数あるのですが、思わず笑みが浮かび、帰省してよかったと思った瞬間でもあり、ふるさとに思いを馳せていました。

さて、幼稚園の冬休みは、植物の水やりやモルモットの世話を先生方が続けてくださったおかげで、みんな元気に新年が迎えられています。

そして、2階の奥の部屋からは、元気な子どもたちの声が響いていました。にこにこクラブを利用する子どもたちが増えていて、様々なかかわりが見られます。3歳から5歳までの子どもたちが触れ合って過ごす時間は、体を動かして運動したり、手を使って操作したりする中で、いろいろなことを考えて過ごしています。年齢差があることが相手への気遣いにつながったり、一緒にいることで楽しさが倍増したりしています。よく見ると、新たな経験につながるチャンスが見られます。様々な場面で、子どもたちが幸せな気分になる時間をもつことができれば嬉しいです。

令和7年の干支は、へび（巳）です。へびは、脱皮を繰り返して成長していくさまが、「新しい自分に出会える年になる」とも言われているそうです。ぜひ、様々なことにチャレンジして幸せな気分を味わいたいものです。

